

令和5年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立おなづか小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・低学年は、相手意識をもって文を書く機会を多く取り入れ、1年のひらがなの習得につながり、2年生は構成を明確にして書く力につながった。
- ・中学年は、読書や読み聞かせなどを意識的に行い、読むことへの関心を高めることができた。
- ・高学年は、朝読書をしたり、物語文を行動や情景に着目し、叙述を基に読む授業を行ったことで、物語の読み取りの力が向上した。

(2) 課題

- ・低学年は、言葉の理解力の個人差が大きい。また、表現したい思いがあっても、表現力にも差がある。生活経験と結び付けながら言葉の理解を深めるようにしていく必要がある。
- ・中学年は、漢字の読み書きや言葉の学習などの基礎的なところに課題がある。漢字の反復練習や読書などを積み重ねていく必要がある。
- ・高学年は、話し合いの目的や意図を明確にし、それに沿って話し合うことに課題がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	全体的に目標値とほぼ同程度まで達している。文章を書くことについて、やや課題がある。		
第5学年	全体的に目標値を下回っている。漢字を書くことや文章を書くことについて課題がある。	全体的に目標値を下回っている。漢字を書くことに課題がある。	
第6学年	全体的に目標値とほぼ同程度まで達している。情報の扱い方に関する事項について、やや課題がある。	全体的に目標値を下回っている。漢字を読むこと、物語の内容を読み取ることの正答率が高い。漢字を書くこと、文章を書くことに課題がある。	全体的に目標値とほぼ同程度まで達している。文章を書くことに課題がある。

(2) 分析（観点別）

① 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉の理解力の個人差が大きい。読書の時間を活用し語彙力を増やしていく必要がある。また、片仮名の定着や、拗音・撥音・促音の表記に課題がある。	表現したい思いがあっても、表現力にも差がある。生活経験と結び付けながら言葉の理解を深めるようにしていく必要がある。	物語文や説明文を読み取る学習を生かし、音読劇や図鑑づくりなどの活動に意欲的に取り組むことができる。詩や短い生活文、日記、学習したことを紹介する文章等を書く学習に目的意識をもち楽しんで取り組めるようにしていきたい。

② 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回っている。漢字の読み書き、言葉の特徴や使い方について特に習熟できている。	目標値をわずかに下回っている。物語や説明文の読み取りはほぼ目標値と等しい数値だが、文章を書くことについて課題がある。	主体的に学習に取り組む態度に関する問題では、目標値を下回った。

③ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5年生：目標値を下回っている。漢字を書くこと、言葉の学習に課題がある。 6年生：目標値を上回っている。	5年生：目標値を下回っている。文章を書くことについて課題がある。 6年生：目標値を上回っている。文章や資料から読み取った情報を整理することについて課題がある。	5年生：目標値を下回っている。 6年生：目標値を上回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 漢字学習は、家庭学習も活用し、反復練習で力をつけていく。 「とめ」「はね」「はらい」や字のバランスについても丁寧に指導する。 朝読書や読み聞かせ活動に取り組み、語彙を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎回の授業や家庭学習で音読に継続して取り組む。 必要に応じて動作化や写真や実物の提示を行う。 順序を押さえながら読み取るように指導する。 相手意識をもたせて書かせる。 家族や友達に読んでもらったり友達同士で読み合ったりよさを認め合ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせを積極的に行う。 ペア、グループ学習などを取り入れ安心して学習できるようにする。 クイズ作りや説明書作り、図鑑作りなど意欲が上がる活動を取り入れる。 生活文や学習したことを紹介する文を書く活動を計画的に行う。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 毎日の家庭学習を活用し、漢字学習に継続して取り組んでいく。 自分の書いた文を読み返し、文の主語と述語を確認させる。 ローマ字に親しめる活動を行う。 朝読書に取り組み、語彙を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の教材の内容の中心や場面の様子がよく分かるように家庭学習でも繰り返し音読をさせる。 手本となる作品に触れる機会を多く設定し、段落ごとの内容のまとまりや、段落相互の関係に気付かせたり、文章全体の組み立てをとらえさせたりする。 「初め、中、終わり」の構成を意識して文章を書かせる。 学級会の話合い活動や自分の意見をもつ活動などで互いの考えの共通点や相違点を考え、話し合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容の関連図書を紹介し、様々な分類の本に触れさせ、読書の幅を広げる。 ペアやグループ学習を取り入れ、友達と交流しながら学習できるようにする。 家庭学習などで日常的に文章を書くことに取り組み、自分の考えや思いを表現する心理的ハードルを下げる。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・毎日の家庭学習を活用し、漢字学習に継続して取り組んでいく。・朝読書に取り組み、語彙を増やしていく。・分からない言葉や漢字をすぐに調べる習慣を身に付けさせる。・自分の書いた文を読み返し、文の主語と述語を確認させる。	<ul style="list-style-type: none">・登場人物の心情を考える際、直接書かれていることだけでなく、行動や情景にも着目し、叙述を基にとらえられるようにする。・説明文の読み取りでは、それぞれのまとまりがどのような役割をもち、どのような関係になっているのかをとらえられるようにする。・話し手の意図や自分の考えとそれを支える理由を明確にして聞いたり、話したり、書いたりする活動に取り組む。・話し合いの内容を要点でメモしたり、情報と情報を関連付けてメモしたりする指導を行う。	<ul style="list-style-type: none">・学習内容の関連図書を紹介し、様々な分類の本に触れさせ、読書の幅を広げる。・ペアやグループ学習を取り入れ、友達と交流しながら学習できるようにする。・学習のめあてを明確にして、単元の始めに身に付けた力を見事に認識させる。・家庭学習などで日常的に文章を書くことに取り組み、自分の考えや思いを表現する心理的ハードルを下げたり、事実と感想とを意識的に区別して書く習慣を身に付けさせたりする。